

## 日本中国考古学会 2023 年度総会・大会プログラム

会場・日時 : 九州大学伊都キャンパス E-B-112 (オンライン併用)  
〒819-0395 福岡市西区元岡 744  
2023 年 12 月 16 日 (土)・17 日 (日)

大会は会場での対面形式とオンライン (zoom ミーティング) 形式を併用します。オンラインで参加される方は、必ず事前に参加申込をお願いします。また、対面にて懇親会に参加される方も、おおよその人数を把握したため、申込をお願いいたします。

【オンライン参加の方】 11 月 30 日 (木) までに、下の URL より Google フォームに必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/LDU6T9ZU32gpWuZX9>

※総会も対面・オンライン併用で実施いたします。総会のオンライン会場につきましては、別紙ご参照ください。

【懇親会参加の方】 11 月 5 日 (日) までに、下の URL より Google フォームに必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/DRHAoWyPG9EpLeS27>

※オンライン参加の場合の Zoom 会議室 URL は、12 月 15 日 (金) 午後に、お知らせいただいたメールアドレスまでご連絡します。

※今年度の大会情報につきましては 日本中国考古学会ホームページ (http://jsca.sakura.ne.jp) 上にも随時掲載いたしますので、適宜ご確認いただけましたら幸いです。

※オンラインでの参加は原則として本会会員に限りませんが、上記 URL にアクセスいただければどなたでも参加可能です。会員のみならず、学生の方やご一緒に研究に取り組んでおられる関係者の方々をお誘いあわせの上、ご参加いただければ幸いです。オンライン参加につきましては以下の点にご注意ください。

- ①受信画像・発表資料などの録画 (画面キャプチャも含む)・保存・加工・再配布を禁止します。
- ②zoom アプリケーションをご利用の端末にインストールのうえ、上記 URL にアクセスしてください。  
zoom アプリケーションは zoom ホームページ (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) から無料でダウンロードできます。
- ③質疑の際を除き、端末のマイクおよびビデオをオフにしてくださいようお願い申し上げます。参加者のマイクがオンの場合、ハウリングなどによって学会の進行に影響を及ぼす可能性があります。
- ④zoom による通信が遅い、動作が止まるなどの症状が出た場合、一度退出ののちに再入室いただくと、改善することがあります。また、不測の事態によりオンライン会議室自体に通信不良が発生した場合、実行委員会側で一旦強勢終了させていただく場合があります。この場合、直ちに復旧作業に当たりますので、お手数ですが、1~2 分の時間を置いたのち再度同じ URL にアクセスいただくようお願い申し上げます。

★同時開催！！「モンゴル高原の牧畜社会の始まりを探る-九州大学海外発掘調査の記録-」

伊都キャンパス内のフジイギャラリーにて、九州大学総合研究博物館 2023 年度冬季企画展示「モンゴル高原の牧畜社会の始まりを探る-九州大学海外発掘調査の記録-」が開催中です。本大会中は土日特別開館(10:00～17:00)いたします。入場無料、大会会場から徒歩数分です。皆様のご来場をお待ちしております。

大会・総会のスケジュール

第一日

12月16日(土)

12:00 開場(対面・オンライン)(会場での受付開始)

大会

13:00～13:05 開会のあいさつ

シンポジウム「東アジアにおける農耕の拡散と牧畜社会の形成」(13:10～16:50)

13:10～13:20 講演会趣旨説明 宮本一夫(九州大学)

13:20～14:00 小畑弘己(熊本大学)

「山東から遼東への農耕の拡散—土器圧痕分析の成果—」

14:00～14:40 上條信彦(弘前大学)

「モンゴル高原への農耕の拡散—磨盤・磨棒のデンプン分析を中心に—」

14:40～14:50 休憩

14:50～15:30 松本圭太(九州大学)

「ユーラシア東部の青銅器文化の広がり—セイマ・トルビノ青銅器群を中心に—」

15:30～16:10 岡崎健治(鳥取大学)

「ユーラシア東部の古人骨からみた初期遊牧民」

16:10～16:50 宮本一夫(九州大学)

「モンゴル高原の墓葬からみた牧畜社会の形成と展開」

総会(17:00～17:40)

懇親会(18:00～20:00) 会場：伊都キャンパス内 ITRI ITO(会費 6000 円程度を予定、学割あり)

第二日

12月17日(日)

8:30 開場(対面・オンライン)(会場での受付開始)

大会

一般研究発表(9:00～16:30)

- 9:00～9:30 内田千種（九州大学大学院人文科学府）  
「良渚遺跡群の玉製冠状器編年の再考」
- 9:30～10:00 王騰飛（九州大学大学院人文科学府）  
「春秋戦国時代山東地域における青銅鼎の分類、編年と分布」
- 10:00～10:15 休 憩
- 10:15～10:45 楊海東（駒澤大学）  
「黄河中下流域における東周時代の青銅容器」
- 10:45～11:15 松本圭太・飯塚義之・鈴木舞（九州大学大学院人文科学研究院  
・中央研究院地球科学研究所・山口大学人文学部）  
「島根県立古代出雲歴史博物館所蔵の中国北方系青銅器の金属化学組成」
- 11:15～13:30 ポスターセッション（昼休み）
- 13:30～14:00 胡皓然（筑波大学世界遺産学学位プログラム）  
「龍門石窟古陽洞の造営過程に関する研究」
- 14:00～14:30 八木春生（筑波大学芸術系）  
「敦煌莫高窟北魏窟に見られる造窟思想について」
- 14:30～14:45 休 憩
- 14:45～15:15 陳斯雅・沈麗華（金沢大学古代文明文化資源学研究所・中国社会科学院考古研究所）  
「北朝後期における鄴城地域の窯業生産-曹村窯跡を中心に」
- 15:15～15:45 楊方昊（龍谷大学国際学研究科）  
「トルファン地区のソグド人墓研究 墓室配置と土屍床を中心に」
- 15:45～16:15 鈴木舞・飯塚義之（山口大学人文学部・中央研究院地球科学研究所）  
「契丹馬具の基礎的研究—製作技術と金属成分からの検討—」
- 16:15～16:30 閉会のあいさつ

#### ポスターセッション（11:15～13:30）

この時間帯に会場にてポスターを展示して発表者が対応いたします。

また、オンライン参加のかたも、発表者作成のポスターの PDF などを閲覧できます。オンライン参加のかたでご質問やご意見などあるかたは、学会事務局（[kakudo@komazawa-u.ac.jp](mailto:kakudo@komazawa-u.ac.jp)）まで、どのポスター宛てのご質問なのかを明記の上、12月17日までにご連絡ください。学会事務局からポスター発表者に質問をお伝えさせていただきます（大会事務局ではありませんので、ご注意ください）。

発表者作成の PDF を閲覧するための URL は、大会前の 12月15日から終了後 18（翌日）日まで、学会ホームページ（<http://jsca.sakura.ne.jp>）にて期間限定で公開します。また、大会会場でもご案内いたします。

① 後藤雅彦・主税英徳（琉球大学国際地域創造学部）

「先史東アジア交流史と琉球・台湾の文化的距離の再検証（2）」

- ② 中村大介・Galdan Ganbaatar (埼玉大学・MAS, Institute of Archaeology)  
「モンゴルの馬導入」
- ③ 久保田慎二・楚小龍・楊樹剛 (熊本大学・河南省非物質文化遺産保護中心・河南省考古研究所)  
「二里頭文化における円腹罐の使用痕分析」
- ④ 丹羽崇史 (奈良文化財研究所)  
「二里頭時代から漢代における土製鋳型の製作技法・材質・構造に関する学史的検討」
- ⑤ 長澤文彩 (東京藝術大学音楽研究科)  
「演奏道具から考える編鐘の発音の差異—編鐘の音響実験から— (仮題)」
- ⑥ 陳映玉 (九州大学大学院人文科学府)  
「漢墓資料からみた膠東地域の地域間関係—墓制と副葬陶器の分析を中心に—」
- ⑦ 小林青樹 (奈良大学)  
「楽浪土城出土布目圧痕土器」
- ⑧ 川村佳男・犬塚将英・桑原有寿子 (九州国立博物館・東京文化財研究所・九州国立博物館)  
「泥笛再考：封泥の原料とあわせて」
- ⑨ 白杵勲・佐川正敏・L.イッシツェレン・T.イデルハンガイ・木山克彦・松下憲一・正司哲朗 (札幌学院大学・東北学院大学・モンゴル科学アカデミー考古学研究所・ウランバートル大学・東海大学・愛知学院大学・奈良大学)  
「モンゴル国アルハンガイ県ハルヒラ川第1窯跡群の調査」
- ⑩ 車星璇 (筑波大学人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム)  
「雲岡石窟第19窟及び第18窟の評価」
- ⑪ 呂夢 (金城大学)  
「木範か、陶範か：南京出土六朝瓦当に対する痕跡観察」
- ⑫ 木山克彦・佐川正敏・L.イッシツェレン・白杵勲・正司哲朗・B.アンフバヤル (東海大学・東北学院大学・モンゴル科学アカデミー考古学研究所・札幌学院大学・奈良大学・モンゴル科学アカデミー考古学研究所)  
「モンゴル北東部シャルツ・オール1遺跡第4次調査」

### 『予稿集』について

「予稿集」は、11月末から大会の12月17日まで、期間を限定して学会ホームページよりPDF版を会員のみなさまにむけて公開します（事前にメールで配信されるパスワードが必要）。また、印刷版をご希望される方は、下記①②のいずれかの方法でご連絡をお願いいたします。かならず11月25日（土）までにお申し込みください。

希望された方は、後日送付される会費納入用紙にて会費と合わせて予稿集費1,500円をお振込ください。なお、学会にご登録いただいているご住所が不正確な場合、予稿集が届きませんのでご注意ください。

※PDF版、印刷版ともに著作権の問題があります。取り扱いには十分ご注意ください。

※なお、大会会場にお越しいただくかたには、当日会場費として1,500円を申し受け、その場で印刷版の『予稿集』1冊をお渡しいたします。

- ① 学会事務局（〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学文学部歴史学科 角道亮介 宛）まで、ハガ

キにて印刷版の郵送での購入希望をお知らせください。その際、必ず送り先の住所をお知らせください。

- ② 上記のオンラインフォームにて参加申込をされる方は、フォーム上に予稿集の購入に関する項目がありますので、そちらからご回答ください。

### ★福岡大会会場に関する注意事項

- ・本大会は九州大学伊都キャンパスにて開催です。旧箱崎キャンパス（地下鉄箱崎九大前）ではありませんので、くれぐれもご注意ください。
- ・土・日曜とも伊都キャンパス・イーストゾーンの食堂等の施設は休業しております。ご参加の方は出来るだけ昼食をご持参くださいますようお願い申し上げます。（両日とも会場より徒歩10分程度のセンターゾーンの食堂のみ営業）
- ・福岡では訪日観光客の増加もあり、ホテル不足が続いております。特に土日は空きが少ない状態ですので、ご宿泊を希望される方はお早目のご予約をお願いいたします。

### 会場へのアクセス

#### バス停までの推奨ルート

##### 空路

「福岡空港」→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(JR 筑肥線へ乗換\*)→「九大学研都市駅」→(改札右側の出口を出て、左側にバス停があります。)

昭和バス【九大ビッグオレンジ】（または【九大中央図書館】【九大イーストゾーン】）

\*西唐津行き、筑前前原行きに乗車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

##### JR（新幹線）

「博多駅」→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」（あとは空路の場合と同じ）

博多駅（博多口正面の乗り場【博多駅前A】）より、西鉄バス（【九大ビッグオレンジ】下車）もございますが、道路事情により遅れる場合がありますので、ご注意ください。

#### バス停から会場まで

【九大ビッグオレンジ】より、バスで来た方向の交差点（九州大学）を、円形の大きな建物（椎木講堂）の方に向かって渡り、イーストゾーンに入ります。自動車用ゲートの先に見えるのが、バス停【九大中央図書館】です。

【九大中央図書館】より図書館側のエスカレーターを3回乗り継ぎ、前方にある建物（イースト一号館）に入りますと、添付の地図上のAです。会場は左手にございます。

#### 【大会についての問い合わせ先】

日本中国考古学会 2023年度大会事務局

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学大学院人文科学研究院 松本 圭太

kibayuboku@lit.kyushu-u.ac.jp